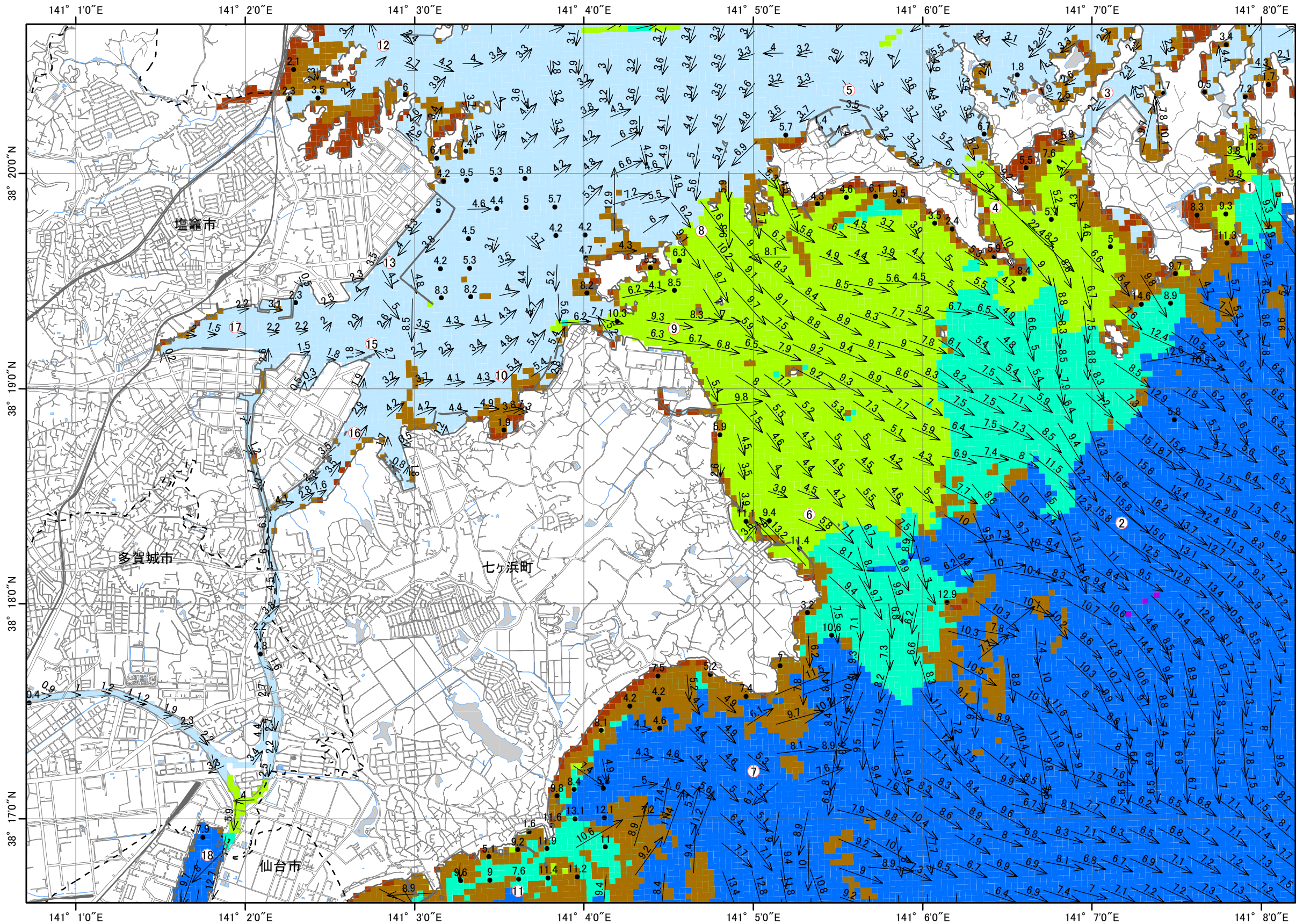




座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最低水面(零位)
隆起量：平均 -0.69m (-0.78m ~ -0.58m)
Zo：0.92m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

最大水位低下

- 10~最大10.3m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化図出力点

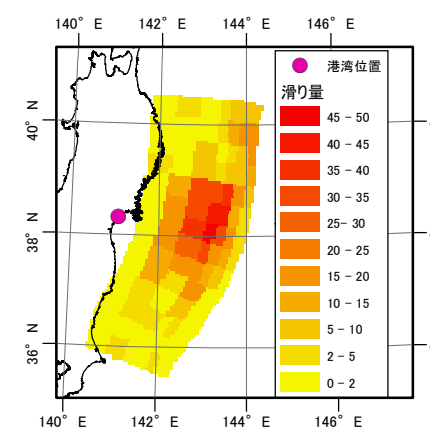
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

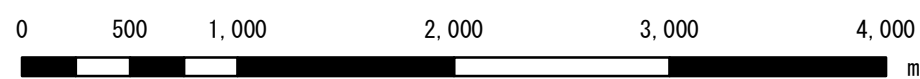
断層モデル



東北地方太平洋沖地震

モーメントマグニチュード Mw 9.0

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基礎地図情報(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)



本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(平成24年3月1日)により公表されたものである。

作成機関：海上保安庁
防災情報図作成年月：平成31年2月(初版)
地形データ作成年月：平成29年1月(初版)